

■ 会社情報

■ 会社概要 2018年12月31日現在

| | |
|-------|--|
| 商号 | ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION) |
| 所在 | 本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111 |
| 設立 | 1947年2月5日 |
| 上場 | 2008年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部 |
| 資本金 | 80億8百万円 |
| 事業内容 | 製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする 各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売 |
| 決算 | 12月31日 |
| 従業員数 | (連結) 12,982名 (単体) 1,160名 |
| 連結子会社 | 国内17社 海外34社(合計51社) |

■ 役員 2019年3月27日現在

| | | | |
|---------|-------|------------|-------|
| 代表取締役会長 | 坂本 精志 | 取締役 | 古川 義朗 |
| 代表取締役社長 | 小林 靖浩 | 取締役 | 水谷 正 |
| 専務取締役 | 本郷 正己 | 取締役 | 栗本 克裕 |
| 常務取締役 | 川井 秀樹 | 取締役 | 家田 康嗣 |
| 常務取締役 | 丸山 暁 | 取締役(監査等委員) | 世古 義彦 |
| 取締役 | 小倉 大造 | 取締役(監査等委員) | 元松 茂 |
| 取締役 | 尾崎 司 | 取締役(監査等委員) | 柘植 里恵 |
| 取締役 | 落合 伸一 | | |

■ 株主メモ

| | |
|---------|--|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) |
| | 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。 |

■ 配当金のお振込指定手続きについて
配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取り、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込による配当金のお受取りをお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ報告書

第73期 (2018年1月1日～12月31日)



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

代表取締役からのメッセージ

不正再発防止に向けて根本的な コンプライアンス、内部統制強化を図る。



代表取締役会長

坂本 精志



代表取締役社長

小林 靖浩

存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2018年10月に当社国内販売子会社のホシザキ東海株式会社における不適切な取引行為が発覚したことによって、外部専門家による調査が必要となり、2018年11月1日に社内調査委員会を、2019年2月25日に第三者委員会を設置し、徹底的な調査を実施いたしました。調査項目が多岐にわたったこともあり、2018年12月期第3四半期及び2018年12月期決算発表並びに各々の法定決算書類の提出が遅れる結果となりました。特に第3四半期報告書については、法定提出期限(2018年11月14日)の1ヵ月延長の承認を得たものの、当社職員による不適切な行為が発覚し、延長期限(12月14日)に提出が叶わず、監理銘柄の指定を受けることとなりました。最終的には12月27日に第3四半期報告書の提出(監理銘柄指定解除)、2019年5月7日に約1ヵ月の提出期限延長の後、2018年12月期有価証券報告書の提出を無事完了することができました。

株主の皆さまには多々ご心配とご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

いずれの調査においても財務諸表への影響額は軽微でありましたが、調査報告書においては、今後ホシザキグループが健全に事業活動を行っていく上で、我々が対処すべき内部統制上の問題点をあらゆる観点からご指摘いただき、再発防止策をご提言いただいております。

本指摘事項につきましては、その内容をしっかり検証した上

で、今後親会社であるホシザキ株式会社主導で具体的な再発防止策を策定し、実行してまいります。

当期(2018年12月期)の業績の総括

当連結会計年度における国内の経済環境は、経済政策、金融施策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復し、設備投資は増加いたしました。一方で、個人消費は持ち直しが続くものの、消費者物価上昇の動きには鈍化がみられました。

海外におきましては、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きがみられました。一方、中国では景気は持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のなか、ホシザキグループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。

海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。

なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、連結売上高につきましては、前期と比較して3.7%増の2,927億74百万円、連結営業利益につきましては、1.1%増の364億46百万円となりました。連結の営業外費用として、前期末から円高が進んだことに伴い、保有外貨等の円貨評価に係る為替差損を17億19百万円計上しており、連結経常利益につきましては、1.9%減の363億72百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期と比較して11.1%増の257億17百万円となりました。売

上高、営業利益ともに過去最高の業績となっており、7期連続で増収増益となっております。

2019年12月期の取り組み

2019年12月期の業績予想につきましては、売上高2,966億円(前期比1.3%増)、営業利益は345億円(同5.3%減)と、売上高は8期連続での増収を見込むものの、営業利益につきましては8期ぶりの減益を見込んでおります。減益の主要因ですが、日本及び米国にて実施しました外部調査費用(実績)、主に日本における調査対応による営業活動量の制約、ホシザキグループ全体におけるコンプライアンス及び内部統制強化に要する諸費用に加えて人手不足が深刻化する日本国内のフードサービス産業の設備投資停滞、海外では米中における貿易戦争の関連マーケットへのマイナス影響、ブレグジット等欧州経済の不透明さ、継続する原材料(主に鋼材)費用の増加等をリスク要因として織り込みました。

ホシザキグループとしましては、上場企業として「あるべきコンプライアンス、内部統制」構築に向けて、組織風土改革、ガバナンス体制見直し、人材育成、不正防止対策推進等を親会社であるホシザキ株式会社主導で進めることをお約束いたします。さらに、企業価値向上に向けて、収益性の高い既存市場の丁寧な深掘りに加えて、原価及び販売管理費等のコスト削減等に努め、通期ベースでの業績を少しでも改善できるよう役員、社員一同努力するつもりです。

株主の皆さまには、今後とも「フードサービス業界の世界No.1」の実現に向けたホシザキグループの挑戦にご期待いただき、引き続きホシザキグループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

トピックス

五大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

国内の取り組み

※Hazard Analysis and Critical Control Pointの略

食品衛生の国際基準である、HACCP*義務化に向けた衛生管理を強力に支援

消費者の食の安全、安心に対する関心が高まっている中、厚生労働省は2018年に、異物混入等による食品自主回収を都道府県知事等へ報告するよう義務付けることや、食品衛生の国際基準であるHACCP(ハサップ)の導入を全食品事業者へ義務付けること等、食品衛生法を改正いたしました。

当社では、食品や器具の除菌・洗浄に役立つ電解水生成装置をはじめとした衛生管理機器を豊富に取り揃えております。また、ホシザキグループ400名以上のHACCP有資格者を中心に、顧客にあわせた衛生管理提案等、HACCPの義務化に向けた食の安全・安心をハード面・ソフト面で全面的にサポートいたします。

HACCP義務化に向けた当社の取り組み例

▶▶ ハード面

- 電解水生成装置
- プラスチックラッシュフリーザー
- 器具洗浄機
- 食器消毒保管庫
- 真空包装機
- HACCP対応冷蔵庫

▶▶ ソフト面

- HACCPに基づく厨房設計
- 機器診断・衛生管理点検
- 温度管理システム
- 衛生管理講習会実施
- 衛生管理マニュアル作成
- 厨房清掃・補修・害虫駆除

ホシザキチャリティクラブの活動について

ホシザキグループ役員・社員等を会員とした社会貢献を目的とした任意団体「ホシザキチャリティクラブ」を設立し、グループの規模を生かし、少ない個人負担で大きな支援活動を展開しております。

2018年は、スペシャルオリンピックス*の複数の県支部、青少年育成支援団体、障がい者支援団体、自然保護団体への寄付の他、北海道地震や西日本豪雨の被災者へ、自治体を通じ義援金を贈りました。

*知的障がいのある人たちに様々なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供している組織



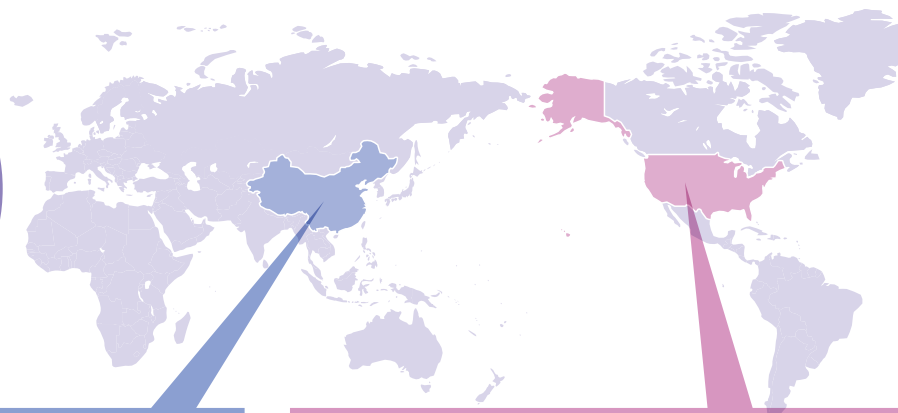
スペシャルオリンピックス日本・島根への寄付

製造事業における原価低減の取り組みについて

2018年9月16日付で原価企画部を設立、商品提案の前に多数の部門からの多面的な原価低減アイデアの収集等を実施し、目標原価の実現性を徹底的に議論・検証することが可能になりました。他社機を分解解析するテアダウン展示会、機能とコストの最適を図るVE(value engineering)検討会を実施、技術部門と連携して設計イメージ図を基に製造段階での生産性を検証し、製品設計完了前の原価低減を図っております。

海外の取り組み

グローバル
フードサービス
機器メーカー
として
プレゼンス向上



中国

中国・アジア向け食器洗浄機新発売

中国・アジア市場での更なる事業拡大に向け、星崎電機(蘇州)有限公司にて2019年5月に生産を開始いたしました。

昨今、中国のフードサービス業界では、人件費高騰による省人化や衛生、安全に対する意識が向上し、食器洗浄機のニーズが急速に高まっております。

競争力の高い新製品導入で同市場での当社プレゼンスをさらに高めてまいります。



食器洗浄機
HW-600A

アメリカ

米国向け環境配慮型冷蔵庫新発売

従来の冷蔵庫“Commercial”シリーズを全面リニューアルし、新シリーズ“Steelheart”を発売しました。環境配慮型商品として、ノンフロン冷媒(プロパン)を採用しております。

特徴

- 冷媒にノンフロンを使用した環境配慮型
- 構造を見直し、内容量を10%アップ
- 新開発のルーバー(庫内の冷気フロー最適化)
- フィルター取外しの容易化(日常清掃性向上)

Steelheart
シリーズ

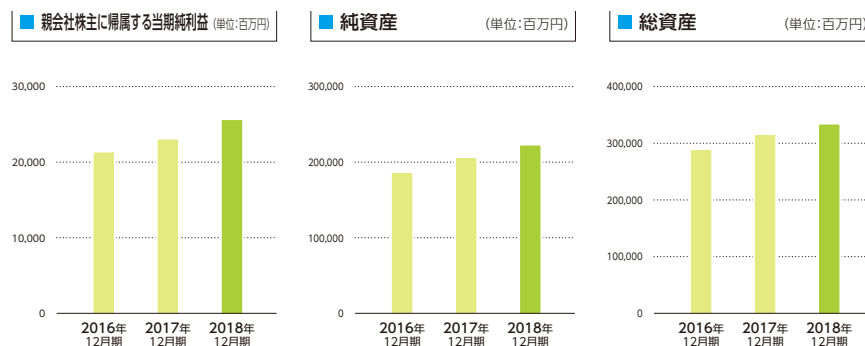
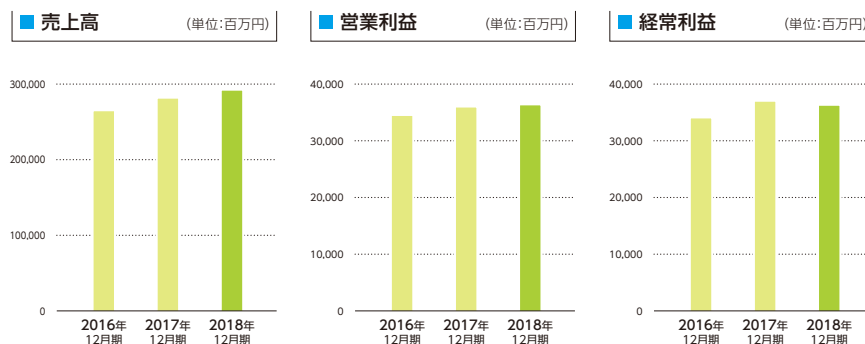


■ 連結財務ハイライト

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

| | 2016年12月期 | 2017年12月期 | 2018年12月期 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 265,548 | 282,215 | 292,774 |
| 営業利益 | 34,575 | 36,065 | 36,446 |
| 経常利益 | 34,140 | 37,086 | 36,372 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 21,430 | 23,144 | 25,717 |
| 純資産 | 187,179 | 206,900 | 223,510 |
| 総資産 | 289,967 | 316,637 | 334,948 |

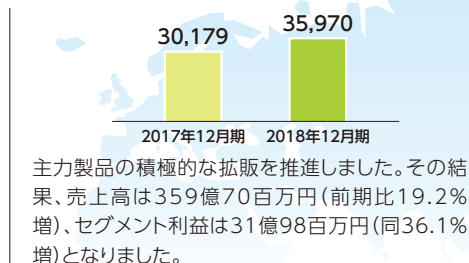


■ 連結セグメント情報

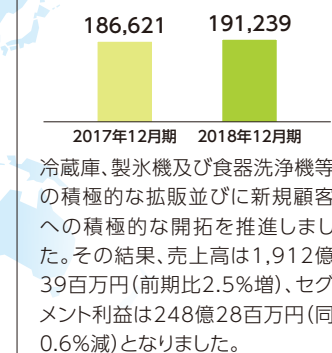
地域別売上高

(単位：百万円)

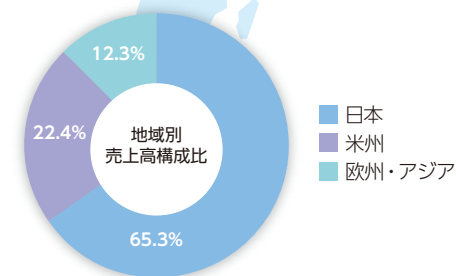
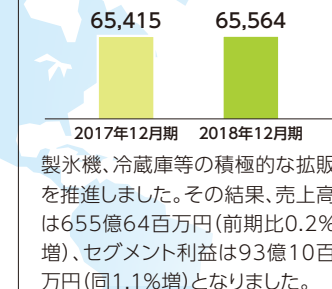
■ 欧州・アジア



■ 日本



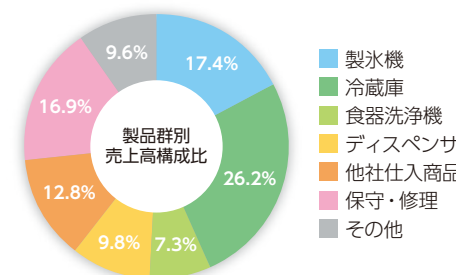
■ 米州



※ エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
※ 各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

製品別売上高

(単位：百万円)



| | 2017年12月期 | 2018年12月期 |
|--------|-----------|-----------|
| 製氷機 | 49,578 | 51,007 |
| 冷蔵庫 | 71,471 | 76,306 |
| 食器洗浄機 | 23,716 | 21,387 |
| ディスペンサ | 29,379 | 28,744 |
| 他社仕入商品 | 33,512 | 37,620 |
| 保守・修理 | 47,132 | 49,560 |
| その他 | 27,424 | 28,146 |
| 合計 | 282,215 | 292,774 |

営業概況

事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、経済政策、金融施策の実施等により、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復し、設備投資は増加しました。一方で、個人消費は持ち直しが続くものの、消費者物価上昇の動きには鈍化が見られました。

海外は、米国では景気は堅調に推移し、欧州では景気は緩やかに回復し、アジアの新興国では景気は持ち直しの動きが見られました。一方、中国では景気は持ち直しの動きがみられるものの、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、為替は第3四半期までは緩やかな円高傾向、その後、年度末にかけては円安傾向で推移しました。

業績・成果

このような環境のなか、ホシザキグループは、国内では、引き続きフードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組みました。海外では、米国を中心に、主要販売先であるフードサービス産業等において、主力製品の拡販に努めました。なお、原価低減に加えITを活用した業務の効率化や生産性向上に努め、利益の確保に継続的に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,927億74百万円(前期比3.7%増)、営業利益364億46百万円(同1.1%増)、経常利益363億72百万円(同1.9%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は257億17百万円(同11.1%増)となりました。

■ 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当期末 2018年12月31日現在 | 前期末 2017年12月31日現在 | 増減額 |
|-----------------|----------------------|----------------------|---------------|
| 資産の部 | | | |
| 1 > 流動資産 | 274,585 | 254,531 | 20,054 |
| 現金及び預金 | 204,263 | 187,224 | 17,038 |
| 受取手形及び売掛金 | 31,183 | 30,261 | 922 |
| 商品及び製品 | 17,941 | 16,079 | 1,862 |
| 仕掛品 | 3,820 | 3,338 | 482 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,148 | 9,132 | 1,016 |
| その他 | 7,379 | 8,640 | △1,261 |
| 貸倒引当金 | △151 | △145 | △5 |
| 2 > 固定資産 | 60,363 | 62,106 | △1,743 |
| 有形固定資産 | | | |
| 建物及び構築物(純額) | 16,426 | 17,767 | △1,341 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 8,508 | 8,203 | 305 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 2,238 | 2,431 | △193 |
| 土地 | 15,631 | 15,678 | △47 |
| リース資産(純額) | 75 | 78 | △3 |
| 建設仮勘定 | 1,083 | 1,616 | △533 |
| 無形固定資産 | | | |
| 投資その他の資産 | 10,911 | 9,495 | 1,415 |
| 繰延税金資産 | 7,660 | 6,537 | 1,123 |
| その他 | 3,447 | 3,176 | 271 |
| 貸倒引当金 | △197 | △218 | 21 |
| 3 > 資産合計 | 334,948 | 316,637 | 18,311 |

1 流動資産

現金及び預金、商品及び製品が増加したことから、流動資産は前期末比200億54百万円増加し、2,745億85百万円となりました。

2 固定資産

建物及び構築物、無形固定資産が減少したことから、固定資産は前期末比17億43百万円減少し、603億63百万円となりました。

3 資産合計

固定資産が減少した一方で、流動資産が増加したことから、総資産は前期末比183億11百万円増加し、3,349億48百万円となりました。

| | 当期末 2018年12月31日現在 | 前期末 2017年12月31日現在 | 増減額 |
|--------------------|----------------------|----------------------|---------------|
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 88,288 | 86,720 | 1,567 |
| 支払手形及び買掛金 | 17,664 | 16,893 | 771 |
| 未払法人税等 | 3,760 | 4,925 | △1,164 |
| 前受金 | 26,699 | 24,982 | 1,716 |
| 賞与引当金 | 3,434 | 3,427 | 6 |
| 製品保証引当金 | 1,641 | 1,664 | △22 |
| その他 | 35,088 | 34,827 | 260 |
| 固定負債 | 23,149 | 23,016 | 133 |
| 役員退職慰労引当金 | 242 | 451 | △208 |
| 退職給付に係る負債 | 19,118 | 17,298 | 1,819 |
| 製品保証引当金 | 1,211 | 1,114 | 97 |
| その他 | 2,576 | 4,152 | △1,575 |
| 負債合計 | 111,438 | 109,737 | 1,700 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 226,659 | 205,981 | 20,677 |
| 資本金 | 8,008 | 7,993 | 14 |
| 資本剰余金 | 14,530 | 14,516 | 14 |
| 利益剰余金 | 204,123 | 183,475 | 20,648 |
| 自己株式 | △4 | △3 | △0 |
| その他の包括利益累計額 | △4,420 | △1,014 | △3,406 |
| その他有価証券評価差額金 | 139 | 313 | 174 |
| 為替換算調整勘定 | △2,052 | 463 | △2,516 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2,507 | △1,791 | 716 |
| 非支配株主持分 | 1,272 | 1,932 | △660 |
| 純資産合計 | 223,510 | 206,900 | 16,610 |
| 負債純資産合計 | 334,948 | 316,637 | 18,311 |

4 流動負債

前受金、支払手形及び買掛金が増加したことから、流動負債は前期末比15億67百万円増加し、882億88百万円となりました。

5 固定負債

退職給付に係る負債、製品保証引当金が増加したことから、固定負債は前期末比1億33百万円増加し、231億49百万円となりました。

6 負債合計

固定負債、流動負債がともに増加したことから、負債合計は前期末比17億円増加し、1,114億38百万円となりました。

7 純資産

利益剰余金が増加したことなどから、純資産は前期末比166億10百万円増加し、2,235億10百万円となりました。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 当期 2018年1月1日～ 2018年12月31日 | 前期 2017年1月1日～ 2017年12月31日 | 増減額 |
|-----------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 売上高 | 292,774 | 282,215 | 10,558 |
| 売上原価 | 182,224 | 173,849 | 8,375 |
| 売上総利益 | 110,549 | 108,365 | 2,183 |
| 販売費及び一般管理費 | 74,103 | 72,299 | 1,803 |
| 営業利益 | 36,446 | 36,065 | 380 |
| 営業外収益 | 2,049 | 1,665 | 384 |
| 受取利息 | 1,497 | 955 | 542 |
| その他 | 552 | 709 | △157 |
| 営業外費用 | 2,123 | 644 | 1,479 |
| 支払利息 | 67 | 95 | △28 |
| 為替差損 | 1,719 | 402 | 1,316 |
| その他 | 337 | 147 | 190 |
| 経常利益 | 36,372 | 37,086 | △714 |
| 特別利益 | 12 | 100 | △87 |
| 固定資産売却益 | 12 | 100 | △87 |
| 特別損失 | 294 | 1,885 | △1,590 |
| 関係会社出資金売却損 | 248 | — | 248 |
| その他 | 46 | 1,885 | △1,838 |
| 税金等調整前当期純利益 | 36,090 | 35,302 | 788 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,268 | 12,720 | △1,451 |
| 法人税等調整額 | △1,136 | △739 | △396 |
| 法人税等合計 | 10,132 | 11,980 | △1,847 |
| 当期純利益 | 25,958 | 23,321 | 2,636 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 240 | 177 | 63 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 25,717 | 23,144 | 2,572 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 当期 2018年1月1日～ 2018年12月31日 | 前期 2017年1月1日～ 2017年12月31日 | 増減額 |
|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 30,203 | 34,877 | △4,674 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 16,478 | △34,066 | 50,545 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,047 | △4,966 | △81 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2,285 | 329 | △2,614 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 39,349 | △3,826 | 43,176 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 49,906 | 53,733 | △3,826 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 89,256 | 49,906 | 39,349 |

8 売上高

フードサービス産業等への積極的な拡販と新規顧客の継続的な開拓に取り組み、海外では米国を中心に主力製品の拡販に努めた結果、売上高は前期比3.7%増の2,927億74百万円となりました。

9 営業利益／経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、営業利益は前期比1.1%増の364億46百万円となり、経常利益は、前期比1.9%減の363億72百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比11.1%増の257億17百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、302億3百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益(360億90百万円)、減価償却費(51億22百万円)などがあったことによるものです。

12 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローの収入減などがあった一方で、投資活動によるキャッシュ・フローの収入増があり、現金及び現金同等物の期末残高は前期末に比べ393億49百万円増加し892億56百万円となりました。

■ 株式関連情報 (2018年12月31日現在)

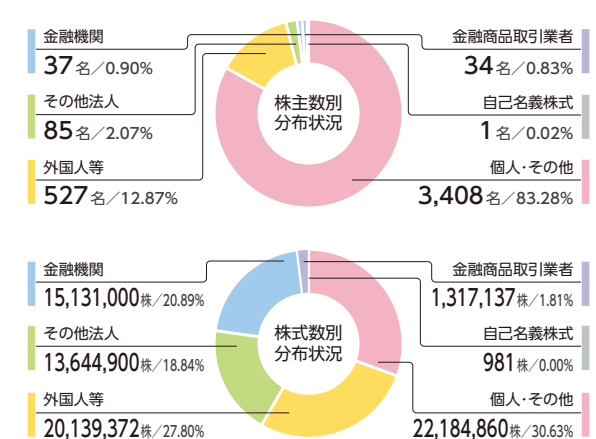
株式の状況

| | |
|----------|---------------|
| 発行可能株式総数 | 250,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 72,418,250 株 |
| 株主数 | 4,092 名 |

大株主の状況

| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社 | 6,203 | 8.56 |
| 公益財団法人ホシザキグリーン財団 | 5,800 | 8.00 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,222 | 4.44 |
| ホシザキグループ社員持株会 | 2,672 | 3.69 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,234 | 3.08 |
| 真木 薫 | 1,757 | 2.42 |
| 稲森 美香 | 1,690 | 2.33 |
| 真木 豊 | 1,670 | 2.30 |
| ザバンク オブ ニューヨーク メロン 140042 | 1,280 | 1.76 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 1,147 | 1.58 |

株式分布状況



■ 国内外ネットワーク (2018年12月31日現在)

| ホシザキ株式会社 | |
|---|------------------------|
| ■ 本社／愛知県 豊明市 | ■ 島根本社工場／島根県 雲南市 |
| 国内グループ会社 | |
| ■ ホシザキ北海道株式会社／北海道 札幌市 | ■ ホシザキ京阪株式会社／大阪府 大阪市 |
| ■ ホシザキ東北株式会社／宮城県 仙台市 | ■ ホシザキ阪神株式会社／大阪府 大阪市 |
| ■ ホシザキ北関東株式会社／埼玉県 さいたま市 | ■ ホシザキ中国株式会社／広島県 広島市 |
| ■ ホシザキ関東株式会社／東京都 文京区 | ■ ホシザキ四国株式会社／香川県 高松市 |
| ■ ホシザキ東京株式会社／東京都 港区 | ■ ホシザキ北九株式会社／福岡県 福岡市 |
| ■ ホシザキ湘南株式会社／神奈川県 横浜市 | ■ ホシザキ南九株式会社／鹿児島県 鹿児島市 |
| ■ ホシザキ北信越株式会社／石川県 金沢市 | ■ ホシザキ沖縄株式会社／沖縄県 那覇市 |
| ■ ホシザキ東海株式会社／愛知県 名古屋市 | ■ 株式会社ネスター／愛知県 大府市 |
| | ■ サンセイ電機株式会社／島根県 雲南市 |
| 海外グループ会社 | |
| ■ HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国 | |
| ■ HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国 | |
| ■ Jackson WWS, Inc./米国 | |
| ■ LANCER CORPORATION/米国 | |
| ■ LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ | |
| ■ INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ | |
| ■ SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ | |
| ■ HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州 | |
| ■ HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド | |
| ■ Lancer Europe/ベルギー | |
| ■ Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル | |
| ■ Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ | |
| ■ HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国 | |
| ■ Hoshizaki Europe B.V./オランダ | |
| ■ GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク | |
| ■ Western Refrigeration Private Limited/インド | |
| ■ Western Coolers and Freezers Private Limited/インド | |
| ■ HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ | |
| ■ HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア | |
| ■ HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール | |
| ■ HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム | |
| ■ PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア | |
| ■ HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン | |
| ■ 星崎香港有限公司/香港 | |
| ■ 星崎(中国)投資有限公司/中国 | |
| ■ 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国 | |
| ■ 星崎電機(蘇州)有限公司/中国 | |
| ■ 台湾星崎股份有限公司/台湾 | |
| ■ Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国 | |

米州

欧州・アジア